



縦割り班毎
に花苗を
植えました!

♡道徳教育♡ 今年度の重点は「親切・思いやり」



今年度、「ほっと」で「ほほえむ」瑞穂小をつくるために、道徳教育で特に力を入れていくのは、「親切・思いやり」の心を育むことです。学校生活全般で、また道徳の時間を使って、子どもたちの「親切・思いやり」の心を育てていきたいと考えています。

さらに、学年ごとの重点目標として、低学年は「友情・信頼」、中学年は「相互理解・寛容」高学年は「公平・公正・社会正義」を掲げました。

家庭、学校、地域が一つになって子どもたちを見守りながら、子どもたちの温かい人間関係を築く心・態度を育てていけますよう、「おうちでほっとタイム」や、「わたしたちの道徳」を使っての家族での対話などをお願いすることがあるかと思いますが、ご協力をお願いいたします。

～道徳の授業から～ (6年)

- ・テーマ 「友情」
- ・資料名 「知らない間の出来事(私たちの道徳)」
- ・主な内容 友達に送ったメールが原因で事実とは違う噂が広まり、転校生のあゆみを傷つけてしまったみかの気持ちを考えることを通して、自分の心を見つめました。
- ・振り返りから



- 私は3人で帰っているときに、2人しか知らない話をしたことがあって、知らない間に友達に悲しい思いをさせていたと気づいた。
- 友達が「どうすればいいと思う?」と悩みを打ち明けてくれたのに、私は「まあ、どっちでも大丈夫やと思うけど…」と具体的に言ってあげることができなかった。
- 一言の大切さを知ることができた。私は一人でいたとき、友達に「いっしょに行こう」と言われて、とてもうれしかった。
- ほくも軽い気持ちで言ってしまうたりすることがあるので、同じ一言でも、うれしくなる一言を言いたい。
- 人の気持ちを考えてしゃべりたい。一言だけで喜びや悲しみに広がっていくんだなあと思った。
- 自分は一言をかけてもらってうれしかったことがたくさんあると気づいたので、ほくもたくさん声をかけたい。